

お知らせ

会員各位

会員各位からの投票に基づき、下記の方々を2022年・2023年度代議員として選任いたしました。「公益社団法人日本分析化学会 代議員選挙規則」第12条に基づき公告します（代議員選挙規則 第12条 会長は、選任した代議員を、すみやかに本会会誌に公告しなければならない）。

会長 早下隆士

会田 秀樹 (都農林総合研究センター)	相本 道宏 (日本製鉄)	赤坂 和昭 (尚綱学院大総合人間科学)
浅岡 聡 (広島大院統合生命科学)	五十嵐 真人 (日立ハイテク)	石川 隆一 (アジレント)
石坂 昌司 (広島大院工)	石田 晃彦 (北大院工学研究院)	石田 智治 (JFEスチール)
一色 健司 (高知県立大地域教育センター)	伊藤 徹二 (産業技術総合研究所)	稲川 有徳 (宇都宮大工)
井原 敏博 (熊本大院先端)	岩瀬 和哉 (JFEテクノリサーチ)	岩田 吉弘 (秋田大教育文化)
植田 郁生 (山梨大工)	上田 忠治 (高知大教育)	上田 博史 (住友化学)
上野 祐子 (中央大理工)	上原 伸夫 (宇都宮大工)	植松 宏平 (福井県立大生物資源)
内嶋 茂 (三菱ケミカル)	梅林 泰宏 (新潟大自然科学)	江坂 文孝 (原子力機構)
江坂 幸宏 (岐阜薬科大機能分子学)	遠藤 昌敏 (山形大院理工)	大塚 利行 (神戸大院理)
大橋 朗 (茨城大理)	岡村 浩之 (原子力機構)	小川 数馬 (金沢大薬)
奥山 修司 (愛知県警察本部科捜研)	蠣崎 悌司 (北海道教育大教育札幌校)	片山 佳樹 (九大院工)
勝又 啓一 (高千穂化学工業)	加藤 亮 (豊橋技術科学大教育研究基盤センター)	金橋 康二 (日鉄テクノロジー)
加納 健司 (京大産官学連携本部)	川上 智彦 (化研)	川田 哲 (物質・材料研究機構)
川邊 武史 (第一三共)	菅 正彦 (北海道教育大教育札幌校)	北川 慎也 (名古屋工業大院工)
北川 文彦 (弘前大院理工)	葛尾 竜一 (住友金属鉱山)	工藤 英博 (北海道三井化学)
熊澤 茂則 (静岡県立大食品栄養科学)	桑原 哲夫 (山梨大工)	小池 亮 (花王)
小園 修治 (UBE科学分析センター)	齋藤 伸吾 (埼玉大理工)	坂入 正敏 (北大院工)
坂元 秀之 (日立ハイテクサイエンス)	座古 保 (愛媛大院理工)	佐澤 和人 (富山大学術研究部理)
佐藤 香枝 (日本女子大理)	佐藤 博 (長崎国際大薬)	鹿籠 康行 (アジレント)
敷野 修 (パーキンエルマー・ジャパン)	四宮 一総 (日本大薬)	島田 亜佐子 (原子力機構)
白井 理 (京大院農)	末吉 健志 (大阪府立大院工)	菅沼 こと (帝人)
菅原 一晴 (前橋工科大工)	鈴木 彌栄子 (農研機構)	鈴木 康志 (島津製作所)
宗林 由樹 (京大化学研究所)	高橋 あかね (オルガノ)	高橋 透 (福井大学術研究院工)
高原 晃里 (リガク)	高橋 利幸 (佐賀大理工)	竹澤 正明 (東レリサーチセンター)
竹下 聡一郎 (昭和電工)	巽 広輔 (信州大理)	谷合 哲行 (千葉工大)
茶山 健二 (甲南大理工)	辻 幸一 (大阪市大院工)	富永 昌人 (佐賀大理工)
豊田 太郎 (東大院総合文化)	永井 秀典 (産業技術総合研究所)	中尾 慎治 (富士フィルム和光純薬)
並木 健二 (日立ハイテクサイエンス)	西 直哉 (京大院工)	野呂 純二 (日産アーケ)
萩中 淳 (群馬女子大バイオサイエンス研究所)	萩森 政頼 (武庫川女子大薬)	橋本 康博 (旭化成)
浜瀬 健司 (九大院薬)	早川 慎二郎 (広島大院工)	林 英男 (都産業技術研究センター)
久本 秀明 (大阪府立大院工)	火原 彰秀 (東北大多元物質科学研究所)	平野 愛弓 (東北大)
平山 直紀 (東邦大理)	蛭田 勇樹 (慶應大理工)	藤村 務 (東北医科薬科大)
藤原 薫 (ENEO S)	本田 俊哉 (日立製作所)	前田 耕治 (京都工芸繊維大院工芸科学)
牧 秀志 (神戸大院工)	松井 利郎 (九大院農)	松森 信明 (九大院理)
三浦 篤志 (北大院理)	水野 初 (静岡県立大薬)	光井 康浩 (京都電子工業)
宮下 隆 (キューピー)	森内 隆代 (大阪工業大工)	森岡 和大 (東薬大薬)
森田 成昭 (大阪電気通信大工)	森本 稔 (鳥取大研究推進機構)	安川 智之 (兵庫県立大院物質理学)
安田 純子 (コーセー)	山口 央 (茨城大理)	山崎 真吾 (日本製鉄)
山下 智富 (富山県衛生研究所)	若林 清史 (日立ハイテクフィールドイソグ)	和田 豊仁 (島津製作所)

公益社団法人日本分析化学会 第11回定時総会開催のお知らせ

公益社団法人日本分析化学会
会長 早下隆士

公益社団法人日本分析化学会定款第17条に基づき、第11回定時総会を下記のとおり開催いたします。本会は代議員制を採用し、代議員をもって法律上の社員としていますので、代議員以外の会員の方々には議決権はありませんが、定時総会に出席して意見を述べるすることができます。会員の皆様にはお祝い合わせのうえご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご出席の場合は、書面にて、会員氏名、会員番号、連絡先（住所、電話番号）を明記のうえ、来る4月27日（火）までに下記問合先にお送りください。

第11回定時総会

期日 2022年5月11日（火）14:00～16:00
会場 Web会議（事務局：公益社団法人日本分析化学会）
議案

- 2021年度事業報告及び決算報告承認の件
- 役員の一部辞任及び2022・2023年度役員選任承認の件
- 永年会員推薦承認の件
- 2022年度事業計画及び収支予算報告の件

問合先 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号（公社）日本分析化学会定時総会係
[E-mail: shomu@jsac.or.jp]

第82回分析化学討論会 参加予約登録

第82回分析化学討論会は下記のように開催します。参加予約登録を分析化学討論会ホームページ（以下、討論会HPと略）のオンライン登録で受け付けています。本討論会の参加予約登録はすべてオンライン（Web）上から参加申込者が行う形式です。詳細は本誌2月号または下記の討論会HPを参照ください。

期日 2022年5月14日（土）・15日（日）

会場 茨城大学水戸キャンパス

参加登録申込締切日（事前・通常）

事前：4月13日（水）厳守（いずれのお支払方法でも同じです。）

通常：事前登録締切日までに参加登録が完了していない場合は、すべて通常登録扱いになります。

※会期中でも参加登録は可能ですが、必ずご自身のパソコンから登録をお願いします。

討論会HP

<https://confit.atlas.jp/jsac82touron>

日本分析化学会第71年会 オンライン講演申込スケジュール

日本分析化学会第71年会は下記のように開催します。講演申込にはオンライン登録システム（Web）を使用します。講演募集の要項は本誌5月号の「お知らせ」欄に掲載の予定です。

本年会の講演申込及び講演要旨入力はすべてオンライン（Web）上から申込者が行う形式です。講演申込のスケジュー

ルは下記を予定しております。尚、開催形式につきましては、決定次第、年会のホームページ、並びに本誌「お知らせ」欄にてお知らせします。

講演要旨集はWeb上での電子配布といたします。詳細は本誌5月号及び年会ホームページでお知らせいたします。

期日 2022年9月14日（水）～16日（金）

会場 岡山大学津島キャンパス〔岡山市北区津島中1-1-1〕

講演申込開始 4月27日（水）予定

講演申込締切 6月9日（木）

要旨本文締切 7月6日（水）

参加登録費 現地開催の場合 予約：会員12,000円、学生会員4,000円、会員外21,000円、会員外学生7,000円〔当日：会員15,000円、学生会員6,000円、会員外24,000円、会員外学生8,000円〕 オンライン開催の場合 予約：会員9,000円、学生会員4,000円、会員外18,000円、会員外学生8,000円〔当日：会員12,000円、学生会員5,000円、会員外21,000円、会員外学生9,000円〕

懇親会参加費（現地開催の場合のみ） 予約：一般10,000円、学生4,000円〔当日：一般12,000円、学生5,000円〕

日本分析化学会ホームページ <https://www.jsac.jp>

日本分析化学会第71年会ホームページ

<https://conference.jsac.jp/71nenkai/>

第369回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催（公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー（LC）研究懇談会

2022年度最初の例会ですので、LC研究懇談会が主力を注いでいるHPLC分析とLC/MS分析の基本と応用を盛り込み、それらの全体像がイメージ出来る包括的なプログラムを編成しました。講演者は全員がLC研究懇談会のコアを構成する運営委員です。この分野の現状把握に有益な情報をわかりやすく解説していただけると期待しています。

期日 2022年3月29日（火）

会場 Zoom オンライン会場

講演主題 HPLCとLC/MS～基礎と応用～

講演

講演主題概説（オーガナイザー）（13:00～13:05）

（東京理科大学）中村 洋

1. 試料前処理の基礎（13:05～13:35）

（病態解析研）岡橋美貴子（LC分析士三段）

2. HPLC分析の留意点（13:35～14:25）

（島津総合サービス）三上博久

（LC分析士五段、LC/MS分析士初段）

3. HPLC装置、LC/MS装置のメンテナンス（14:25～15:15）

（アジレント・テクノロジー）熊谷浩樹

（LC分析士四段、LC/MS分析士二段）

休憩（15:15～15:25）

4. 高分子分析のコツ（15:25～16:10）（東ソー）伊藤誠治

（LC分析士五段、LC/MS分析士二段）

5. PFOS、PFOA分析の実際（16:20～16:40）

（栗田工業）榎本幹司

（LC分析士三段、LC/MS分析士三段）

6. 分離科学に用いる統計手法（16:40～17:20）

（ムラタ計測器サービス）大塚克弘

（LC分析士二段、LC/MS分析士三段）

7. 総括「HPLCとLC/MS～基礎と応用～」（17:20～17:50）

（東京理科大学）中村 洋

（LC分析士五段、LC/MS分析士五段）

参加費 LC研究懇談会個人会員：1,000円、協賛学会（日本分析化学会、日本薬学会、日本化学会）及び後援学会（日本農

芸化学会) 会員: 3,000 円, その他: 4,000 円, 学生: 1,000 円。参加申込締切日後の受付はできませんので、ご了承ください。

情報交換会 講演終了後、講師を交えて情報交換会を開催します(会費 1,000 円)。締切日後のご参加はできませんので、参加希望者は必ず事前にお申込みください。

参加申込及び参加費等納入締切日 2022 年 3 月 22 日(火)(入金締切時刻: 15 時まで)

申込方法 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先(電話番号)、LC 会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申込みください。お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス宛に「第 369 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は、世話人までお問い合わせください。

参加費の納入が確認できた方には、3 月 23 日以降に①例会サイト入場 URL と②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします。また、情報交換会参加費納入者には、③情報交換会サイト入場 URL をお知らせいたします。なお、請求書と領収書の発行はいたしていません。領収書は、振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます。

申込先 <https://forms.gle/fXcHe6pMb3hrciTD6>

銀行送金先 りそな銀行 五反田支店(普通) 0802349 口座名(シャ)ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合せ先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 中村 洋 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

2022 年度第 1 回近畿支部講演会

主催 (公社)日本分析化学会近畿支部、近畿分析技術研究懇談会

期日 2022 年 4 月 8 日(金) 15:00~17:00

会場 大阪科学技術センター 7 階 700 号室〔大阪市西区靱本町 1-8-4、電話: 06-6443-5324、交通: 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車、北へ徒歩約 7 分。うつほ公園北詰〕

講演

1. ナノ流体デバイスが拓く新しい化学 (15:00~16:00)
(大阪府立大学工学研究科) 許 岩
2. 糖鎖解析における分離分析の役割 (16:00~17:00)
(近畿大学薬学部) 鈴木 茂

参加費 無料

参加申込 標記行事名を題記し、(1) 氏名、(2) 勤務先(所属)、(3) 連絡先を記入の上、下記申込先へ FAX または E-mail にてお申し込みください。なお、参加証は発行いたしませんので、当日は直接会場にお越しください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 (公社)日本分析化学会近畿支部〔電話: 06-6441-5531, FAX: 06-6443-6685, E-mail: mail@bunkin.org〕

※新型コロナウイルスの影響により、延期やオンライン開催等に変更する可能性があります。変更などの詳細は、近畿支部ホームページ (<http://www.bunkin.org/>) にてご確認ください。

第 370 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

HPLC, LC/MS では広範囲に渡る分野の試料を扱いますが、

これら試料のマトリックスは単純なものから極めて複雑なものまで、千差万別であり、また分析種も多岐に及びます。HPLC 分析を成功させるためには、試料マトリックス及び分析種の情報に基づき、前処理、分離、検出を最適化することが必要です。本例会では、これら最適化における基本的な考え方、実践的なコツやポイントについてご講演いただきます。

期日 2022 年 4 月 27 日(水) 13:00~17:15

会場 Zoom オンライン会場

講演主題 HPLC と LC/MS における最適化の基礎と実際
講演

講演主題概説(オーガナイザー) (13:00~13:05)
(株)島津総合サービス 三上博久

1. 基本パラメーターと分離最適化の基礎 (13:05~13:30)
(株)島津総合サービス 三上博久
(LC 分析士五段, LC/MS 分析士初段)

2. サンプル前処理における最適化 (13:30~14:05)
(日本ウォーターズ(株)) 島崎裕紀
(LC 分析士三段, LC/MS 分析士二段)

3. 逆相クロマトグラフィーにおける最適化 (14:05~14:40)
(ジーエルサイエンス(株)) 鈴木幸治
(LC 分析士四段, LC/MS 分析士四段)

4. HILIC モードの分離について~逆相モードとの相違など (14:40~15:15)
(株)クロマニックテクノロジーズ 長江徳和
(LC 分析士二段)

休憩 (15:15~15:30)

5. 検出の最適化におけるポイント (15:30~16:05)
(アジレント・テクノロジー(株)) 熊谷浩樹
(LC 分析士四段, LC/MS 分析士二段)

6. LC/MS における最適化のポイント (16:05~16:40)
(エムエス・ソリューションズ(株)) 高橋 豊
(LC 分析士二段, LC/MS 分析士五段)

7. 総括「HPLC と LC/MS における最適化の基礎と実際」 (16:40~17:15)
(東京理科大学) 中村 洋
(LC 分析士五段, LC/MS 分析士五段)

参加費 LC 研究懇談会個人会員: 1,000 円, 協賛学会(日本分析化学会, 日本薬学会, 日本化学会)及び後援学会(日本農芸化学会)会員: 3,000 円, その他: 4,000 円, 学生: 1,000 円。参加申込締切日後の受付はできませんので、ご了承ください。

情報交換会 講演終了後、講師を交えて情報交換会を開催します(会費 1,000 円)。締切日後のご参加はできませんので、参加希望者は必ず事前にお申込みください。

参加申込及び参加費等納入締切日 2022 年 4 月 20 日(水)(入金締切時刻: 15 時まで)

申込方法 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先(電話番号)、LC 会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申込みください。お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス宛に「第 370 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は、世話人までお問い合わせください。

参加費の納入が確認できた方には、4 月 21 日以降に①例会サイト入場 URL と②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします。また、情報交換会参加費納入者には、③情報交換会サイト入場 URL をお知らせいたします。なお、請求書と領収書の発行はいたしていません。領収書は、振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます。

申込先 <https://forms.gle/D11z8vf2raKmYsP8A>

銀行送金先 りそな銀行 五反田支店(普通) 0802349 口座名(シャ)ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合せ先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究

懇談会 世話人 (株)島津総合サービス 三上博久 [E-mail : mikamil@sgs.shimadzu.co.jp]

2022年度「ぶんせき講習会」(基礎編その1)

「分析における統計手法～統計の基礎と
統計手法の実際について～」

主催 (公社)日本分析化学会近畿支部, 近畿分析技術研究懇談会

協賛 (公社)化学工学会関西支部, (一社)近畿化学協会, (公社)日本化学会近畿支部, (公社)有機合成化学協会関西支部, (公社)高分子学会関西支部, (一社)日本鉄鋼協会関西支部, (公社)日本金属学会関西支部, 関西分析研究会, 関西分析研究会

分析機器の近年の進歩はめざましく高性能化が進み, さらにはその操作も簡便化しています。このため初心者でも測定データをたやすく得ることができるようになった反面, ブラックボックス化した分析機器からコンピュータ処理された測定データが「そのまま使える」数値として出力されるため, その値が「意味のある値」であるかどうかを吟味することや有効数字を意識するケースが少なくなったといえます。

そこで本講習会では, 主に分析初心者および統計に関して再度学習したい方を対象に, 分析化学における基礎である「有効数字, 測定データの統計処理」を学ぶ, あるいは学び直すための演習と講義を企画しました。これにより統計に関する基礎を習得できます。

期日 2022年5月13日(金) 9:45～16:30

会場 Webexによるオンライン開催(CiscoWebex)

*近畿圏内に限らず全国からのご参加をお待ちしております。

講習内容 統計に関する基礎的な演習と講義

対象者 これから分析化学に携わる初心者(新入社員あるいは研究室配属直後の学生)や「有効数字, 測定データの統計処理」を学び直したい方

講習プログラム

本講習会の開催にあたって(9:45～10:00)

1. データ取扱いの初歩—計測と有効数字—(10:00～10:50)
(府大高専)野田達夫
2. 繰り返しデータの統計の基礎—誤差と信頼区間—(11:10～12:10)
(阪大院基工)田邊一郎
3. 各種検定の考え方と実際(13:30～15:00)
(京大院薬)金尾英佑
4. 最小二乗法によるデータ解析(15:20～16:30)
(京大化研)下赤卓史

*参加者には事前に電子メールにてPDF資料(演習問題も含む)のダウンロード方法に関する案内および受講方法の詳細を記したメールを送付します。

*上記のメールに従い, 各自でご用意いただくPCにウェブミーティングソフトのCiscoWebexをダウンロードの上, インストールください。

*当日のテキストは, 各自でPDFを事前にダウンロードし, お使いください。

*演習問題は, 当日に講師がオンライン講習にて解答を解説します。

*お申込みいただいたメールアドレスに, Webexミーティング招待状を送付します。

*当日, Webexの招待メールからミーティングルームにログインしてください。

*講習会の1週間前に接続テストを実施します。ご自身のパソコンでWebexを利用可能かご確認ください。

*演習問題では, 関数電卓を使用いたしますので, 各自でご用

意ください。なお, 書籍「実験データを正しく扱うために」(化学同人)を参考図書としています。

申込締切 4月22日(金), 定員(100名)。お申込受付は先着順とし, 定員になり次第, 締め切ります。4月23日以降のキャンセルは不可。

参加費 主催・協賛団体所属会員6,000円, 学生2,500円, 会員外10,000円

申込方法 参加を希望される方は, 近畿支部HP(<http://www.bunkin.org/>)から本講習会のページに入ってください, 【参加申込フォーム】にてWebからお申し込みください。

*お申込み後, 自動返信メールが届きましたら, 開催日までに参加費のお支払いをお願いいたします。参加費は銀行口座(りそな銀行御堂筋支店 普通預金No.2340726, 名義:公益社団法人日本分析化学会近畿支部)にお振り込みください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 (公社)日本分析化学会近畿支部 [電話: 06-6441-5531, FAX: 06-6443-6685, E-mail: mail@bunkin.org, 近畿支部HP: <http://www.bunkin.org/>]

問合せ先 北隅優希(京都大) kitazumi.yuki7u@kyoto-u.ac.jp

2022年度液体クロマトグラフィー 科学遺産候補の推薦

LC研究懇談会会員で, LC科学遺産候補の推薦を希望される方は, 下記の規程(抜粋)及びLC研究懇談会ホームページを参照のうえ, 8月末日までに推薦書類を提出先にお送りください。なお, 認定が決定されたLC科学遺産については, 第28回LC & LC/MSテクノプラザ(2023年1月を予定)において, 当事者から申請内容の概要を発表もしくは展示していただくと同時に, LC懇の電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」への投稿を行っていただきます。

- 第2条 「液体クロマトグラフィー科学遺産」とは, 日本における液体クロマトグラフィー(LC)の発展にとって, 歴史的な観点から顕著な貢献があったと認められるものを指す。
- 2 「液体クロマトグラフィー科学遺産」は, 年度ごとに1件以内を認定する。
 - 3 装置・器具類においては, その動作原理が日本初若しくはそれに準じたものである事, 又はその性能が従来のものより格段に優れている事を要する。
 - 4 技術・方法においては, 従来のものより効率, 再現性, 操作性などが格段に優れている事を要する。

推薦書類 A4判スペースに横書きで記入した以下の書類(各1通)。①推薦理由書(会員番号明記), ②LC科学遺産候補の名称(40字以内)とその概要, ③LC科学遺産所有者名, ④その他, 適当と思われる資料(1件)を提出してもよい。

提出先 LC科学遺産認定委員会 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

2022年度CERIクロマトグラフィー分析賞 受賞候補者の推薦

液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会は, 2022年度のCERIクロマトグラフィー分析賞受賞候補者の推薦を受け付けております。LC研究懇談会会員で, 標記候補者の推薦を希望される方は, 下記の規程(抜粋)を参照のうえ, 推薦書類提出先にお申し出ください。受賞者には, LC懇の電子ジャーナル

「LC と LC/MS の知恵」への業績投稿を行っていただきます。

- 第1条 本賞は、LC を利用した研究分野で優秀な研究成果を挙げた者を対象に、年1件以内に授与する。
- 第3条 受賞者の資格に年齢は問わないが、LC 研究懇談会の会員である事が望ましい。又、受賞者の研究成果は、既印刷のもので、少なくともその一部が公益社団法人日本分析化学会の機関誌若しくは学術刊行物に掲載されたものである事を要する。
- 第7条 賞の授与は、LC & LC/MS テクノプラザにおいて行う。受賞者には、賞牌及び賞金（10万円）を授与する。

提出書類 推薦者（会員番号明記）は、A4判サイズに横書きで記入した以下の4種類の書類（各1通）を8月末日までに下記提出先に電子メールで送付する。

- ①候補者の生年月日及び高校卒業以後の履歴書、②推薦理由書、③研究業績名（40字以内）及びその概要、④研究業績リスト：表題、全著者名（受賞候補者にアンダーライン）、雑誌名、巻数、掲載ページ数、掲載年をこの順に記載したもの、⑤その他、適当と思われる資料（1件）を提出してもよい。

推薦書類提出先 CERi クロマトグラフィー分析賞係 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

2023 年液体クロマトグラフィー努力賞 候補者推薦について

本賞は液体クロマトグラフィーに関する研究・技術が独創的であり、将来を期待される研究者・技術者が受賞の対象となります。適当な候補者がおられましたら、下記要領にてご推薦またはご応募ください。受賞者には第28回 LC & LC/MS テクノプラザ（2023年1月を予定）における受賞講演、並びに LC 懇の電子ジャーナル「LC と LC/MS の知恵」への業績投稿を行っていただきます。不明な点は下記にお問い合わせください。

受賞資格 液体クロマトグラフィー研究懇談会の個人会員（会員番号明記）で、2023年4月1日現在で満50歳程度まで。

提出資料 ①推薦書又は自薦書（A4判スペース1枚に生年月日、簡単な履歴、受賞の対象となる研究題目）、②推薦または応募理由書（A4判を縦に使用し、1行45字、40行程度で業績説明と主要論文リストを合わせて3枚以内）、③説明資料1件（任意。特に重要な論文の別刷PDF、その他審査の参考となる資料等）を下記応募先に電子メールで添付。

推薦・応募締切 9月末日

応募・問合せ先（公社）日本分析化学会・LC 懇 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

2022 年 POTY 賞受賞候補者の推薦

液体クロマトグラフィー（LC）研究懇談会は、2022年 POTY（Person of The Year）賞受賞候補者の推薦を受け付けております。POTY 賞は LC 研究懇談会の発展に大きく貢献した者に授与しますが（副賞1万円、年度1件以内）、CERi クロマトグラフィー分析賞並びに液体クロマトグラフィー努力賞の受賞者を授与の対象としません。推薦を希望される方は、下記2点に留意され、資料を電子ファイル（1ファイル）で提出してください。

1. 受賞者の年齢は問わないが、LC 研究懇談会の会員である事が望ましい。
2. 推薦者（または自薦者）は、LC 研究懇談会の個人会員とする。

提出資料 推薦者は、A4判サイズに横書きで記入した以下の①～③の資料を、10月31日までに下記提出先に電子メールで送付してください。①履歴書（生年月日、現住所、勤務先と連絡先、高校卒業以後の履歴を含む）、②推薦理由書、③貢献業績名（40字以内）及びその概要。

資料提出先 POTY 賞係 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

——以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

第32回環境工学総合シンポジウム2022

主催 (一社) 日本機械学会
期日 2022年7月7日(木)・8日(金)
会場 レクザムホール(香川県高松市)
ホームページ <https://www.jsme.or.jp/event/22-14/>
連絡先 (一社) 日本機械学会 環境工学部門〔電話: 03-4335-7615, E-mail: kankyosympo2022@jsme.or.jp〕

日本化学会北海道支部2022年夏季研究発表会

主催 (公社) 日本化学会北海道支部
期日 2022年7月23日(土)
会場 室蘭工業大学〔北海道室蘭市水元町27-1〕
※オンライン開催となる可能性があります。
ウェブシステム <https://touche-np.org/kakiken> (3月下旬公開予定)
連絡先 北海道大学大学院工学研究院応用化学部門内 日本化学会北海道支部2022年夏季研究発表会実行委員会〔電話: 080-2862-6084, E-mail: kakiken@touche-np.org〕

第22回真空に関する国際会議(IVC22)

The 22nd International Vacuum Congress (IVC-22)

主催 (公社) 日本表面真空学会, 日本学術会議
期日 2022年9月11日(日)~16日(金)
会場 札幌コンベンションセンター
ホームページ <https://ivc22.org/>
連絡先 (公社) 日本表面真空学会事務局〔E-mail: ivc22@jvss.jp〕

「分析化学」年間特集“省”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画しており、2022年度は「省」をテーマとすることと致しました。

世界の総人口は現在約78億人となり、人々が健康で豊かに暮らしていくためには、限られた資源を有効に活用することが不可欠です。また、誰もが高度な科学技術や医療技術の恩恵を受けられるよう工夫することは、持続可能な開発の理念に資する。転じて我が国の近現代史を顧みますと、少ない資源の元での効率の良い技術開発はお家芸と表現しても過言ではなく、分析化学の分野においても、新しい分析方法・技術の開発や改良を通して、複雑化・多様化した現代社会に大きく貢献しているところではあります。

こうした背景から、本特集では「省」をキーワードとして分析化学における基礎・応用を含めて幅広い観点で見渡し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。国内外、産学官を問わず、「省」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしてお

りますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の12号及びホームページをご参照ください。
特集論文原稿締切: 2022年4月22日(金) (第3期)

初めて書く論文は母語の日本語で！ “第21回若手研究者の初論文特集”募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2022年(第71巻)に第21回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌では、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdfファイルを進呈することになりました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式 (P : 印刷ページ数) (単位: 円)

会員の場合: $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律80,000円)

会員外の場合: $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律90,000円)

*上記に消費税がかかります。